

医学研究センター

研究評価部門

椎橋 実智男
(部門長)

研究評価部門の現在の主な活動は、本学独自の研究業績データベースシステム(「業績プロ」)の運用による本学の研究業績のデータベース化、および、独立行政法人科学技術振興機構が運用する「研究開発支援総合ディレクトリ(ReaD)」(2011年11月からは「新世代研究基盤リード&リサーチマップ(ReaD&Researchmap)」に移行)と連携した本学の研究業績の公開である。これらを通して、本学の研究活動の発展に寄与すべく活動を続けている。以下に、最近の状況を報告する。

1. 新世代研究基盤リード&リサーチマップ(ReaD&Researchmap)とは

ReaD&Researchmapサービスは、独立行政法人科学技術振興機構イノベーション推進本部知識基盤情報部が提供している。かつてのReaDシステムは国内の大学・公的研究機関等に関する研究機関情報、研究者情報、研究課題情報、研究資源情報を収集・提供することを主な目的としていたが、国立情報学研究所社会共有知研究センターが研究開発・提供するResearchmapシステムと統合され、研究に関わるデータベース機能だけでなく、研究者のポータルサイトとしての機能も兼ね備えた「総合的な研究活動支援サイト」となっている。

<http://researchmap.jp/>

2. 本学独自の研究業績データベースシステム(「業績プロ」)について

1) 概要

業績プロは、本学独自の研究業績データベースシステムで、本学の研究者の研究に関わる情報を蓄積し、学内に公開するシステムである。現在、医学部と保健医療学部をあわせて1,352名(平成24年1月1日)の研究者が登録されている。

<http://mrc-gdd.saitama-med.ac.jp/smsap/P300>

(医学研究センターのホームページからもリンクあり)

2) 運用の状況(平成24年1月まで)

- 5月 保健医療学部の教員に対する利用説明会の実施
- 5月 中央研究施設を利用した研究成果のデータの提出
- 7月 研究に関わる人事考課のためのデータダウンロード(各研究者が実施)
- 7月 ReaDとのデータ交換の実施
- 8月 大学病院への研究業績の提出(特定機能病院)
- 11月 ReaDがReaD&Researchmapに移行
WEBによるデータ交換サービスの開始